



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社  
 コード番号 7840 URL <https://www.francebed-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 池田 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理グループ担当 (氏名) 島田 勉 TEL 03-6741-5501  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	37,919	△3.1	2,341	32.0	2,538	46.0	1,709	34.3
2020年3月期第3四半期	39,144	2.5	1,773	△1.6	1,738	△4.3	1,271	32.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,458百万円 (50.6%) 2020年3月期第3四半期 967百万円 (134.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	44.24	—
2020年3月期第3四半期	32.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	60,728	36,730	60.4	980.10
2020年3月期	59,798	37,481	62.6	966.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 36,730百万円 2020年3月期 37,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	△1.2	3,100	24.3	3,300	35.4	2,200	44.7	57.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年2月5日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）特定子会社には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社翼及びカシダス株式会社を連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	41,397,500株	2020年3月期	41,397,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,921,479株	2020年3月期	2,625,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	38,627,889株	2020年3月期3Q	38,950,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、政府の各種政策が実施されているものの、未だに収束時期の見通しが立っておらず、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き中期経営計画の主な施策である「シルバービジネスの更なる強化（得意分野への経営資源の集中）」ならびに「インテリア健康事業の収益性の改善」に全力を挙げて取り組んでおります。

当期におきましては、主力の福祉用具貸与事業がコロナ禍が続く中でもご利用者の方々やそのご家族の生活を維持するために欠かせない介護サービスとして堅調に推移しました。一方で、インテリア健康事業は、業績は回復基調にあるものの、緊急事態宣言下における経済活動の自粛による第1四半期の売上減少分を補いきれなかった結果、当期の当社グループ全体の売上高は37,919百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

利益面では、売上原価率の改善や販管費の抑制に努めたことにより、営業利益は2,341百万円（前年同四半期比32.0%増）、経常利益は2,538百万円（前年同四半期比46.0%増）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間において、政策保有株式の保有に係る当社グループの基本方針に則り、保有株式の一部を売却したことに伴い、投資有価証券売却益281百万円を特別利益に計上いたしました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,709百万円（前年同四半期比34.3%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① メディカルサービス事業

主力の福祉用具貸与事業においては、従業員の検温等の体調管理、マスクの着用、訪問前後の手指の消毒徹底等、感染防止に最大限配慮しつつ、サービスを継続して提供してまいりました。そのような中、福祉用具貸与事業のシェア拡大の一環として、2020年10月に営業拠点1箇所（兵庫県尼崎市）を新設いたしました。

なお、当期より香川県に本社を置き福祉用具貸与事業などを展開している株式会社翼を連結の範囲に含めております。

商品施策では、2020年1月から地域限定でレンタルを開始した、寝姿勢から立ち上がり姿勢まで4つのポジションに変形し、ご利用者の自立支援や介護者の負担軽減を実現する新商品「離床支援マルチポジションベッド」については、順次展開地域を拡大し、2020年10月からは全国で取り扱いが開始となりました。展開地域内でTVコマercialなどによる広告宣伝を行うとともに、ケアマネジャーなどへ小規模の商品説明会を開催することで、適合するご利用者像の共有化を図り、商品特性を訴求いたしました。また、介護サービス事業所等に対して、オゾン発生器などの新型コロナウイルス感染症対策商品の販売にも取り組んでまいりました。

病院・福祉施設等に対しましては、コロナ禍において営業活動が十分できない中、オンラインでの商品紹介などリモートを取り入れた営業活動を行い、主力のベッド及び付属品の販売に加え、オゾン発生装置や消毒器、使い捨て手袋などの新型コロナウイルス感染症対策商品の販売にも取り組んでまいりました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は23,426百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は1,976百万円（前年同四半期比22.7%増）となりました。

#### ② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、当社グループのショールームを3箇所新設（東京都港区、静岡県掛川市、長野県塩尻市）、1箇所増床し（三重県津市）、事前予約制や入場制限を行うなど感染予防対策を徹底した上で、お客様の健康維持や睡眠の質の向上に繋がる高付加価値商品をご覧頂く場を拡大いたしました。また、需要が増加しているインターネット通販企業向けには、3つ折りできるスプリングマットレス「フォールドエア」などの宅配可能な商品の拡販に注力いたしました。

高付加価値商品の拡販においては、東洋紡株式会社と共同開発した除菌機能糸「アグリーザ®」を使用し、マットレス自体に除菌効果を付与した、業界初の衛生に特化した寝具ブランド「キュリエス・エージー®」のマットレスが、衛生に対する関心度の高い購買層を中心に好調に推移いたしました。さらに、2020年10月より、主力の「ライフトリートメントマットレス」シリーズに除菌機能を標準搭載するなど、「きれいがつづく」を新標準とすべく、商品リニューアルを行いました。

国内ホテルに対しましては、コロナ禍の影響によりホテルの客室稼働率が大幅に下落し、需要が後退する中、数少ない新規計画案件の受注に注力するとともに、他社に無い、当社独自の機能商品である、ホテル仕様の「キュリエス・エージー®」マットレス等の促進を実施いたしました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は14,194百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業利益は336百万円（前年同四半期比148.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して929百万円増加し60,728百万円となりました。流動資産は前期末と比較して63百万円増加し31,899百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,342百万円などの増加に対し、未収入金1,277百万円などの減少によるものであります。固定資産は前期末と比較して882百万円増加し28,795百万円となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得やM&Aによるのれんの発生、投資有価証券の時価上昇などによるものであります。

（負債）

負債は、前期末と比較して1,680百万円増加し23,997百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）375百万円、未払法人税等529百万円、リース債務（長期を含む）265百万円の増加などによるものであります。

（純資産）

純資産は、前期末と比較して750百万円減少し36,730百万円となりました。主な要因は、増加については親会社株主に帰属する四半期純利益1,709百万円などによるものであり、減少については剰余金の配当1,085百万円、自己株式の取得1,118百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の62.6%から60.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,737	9,079
受取手形及び売掛金	8,822	8,591
電子記録債権	788	1,118
有価証券	3,499	3,400
商品及び製品	5,764	5,683
仕掛品	400	404
原材料及び貯蔵品	2,057	2,116
その他	2,771	1,527
貸倒引当金	△5	△22
流動資産合計	31,836	31,899
固定資産		
有形固定資産	17,618	18,167
無形固定資産		
のれん	—	375
その他	1,696	1,563
無形固定資産合計	1,696	1,939
投資その他の資産	8,597	8,688
固定資産合計	27,913	28,795
繰延資産	48	32
資産合計	59,798	60,728
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,828	2,969
電子記録債務	2,140	2,375
短期借入金	2,700	3,000
1年内償還予定の社債	600	600
未払法人税等	68	598
賞与引当金	1,221	648
その他の引当金	11	10
資産除去債務	17	37
その他	4,777	5,991
流動負債合計	14,365	16,231
固定負債		
社債	3,000	2,700
長期借入金	300	300
引当金	61	75
退職給付に係る負債	510	529
資産除去債務	276	343
その他	3,802	3,817
固定負債合計	7,951	7,765
負債合計	22,317	23,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	34,676	35,294
自己株式	△2,507	△3,626
株主資本合計	35,168	34,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	△16
繰延ヘッジ損益	1	△2
退職給付に係る調整累計額	2,360	2,080
その他の包括利益累計額合計	2,312	2,061
純資産合計	37,481	36,730
負債純資産合計	59,798	60,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	39,144	37,919
売上原価	19,703	18,033
売上総利益	19,440	19,886
販売費及び一般管理費	17,667	17,544
営業利益	1,773	2,341
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	19	17
持分法による投資利益	1	1
雇用調整助成金	—	221
その他	111	101
営業外収益合計	138	343
営業外費用		
支払利息	44	47
その他	129	99
営業外費用合計	173	146
経常利益	1,738	2,538
特別利益		
固定資産売却益	111	4
投資有価証券売却益	—	281
特別利益合計	111	286
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	12	18
投資有価証券売却損	—	17
減損損失	10	43
臨時休業等による損失	—	102
その他	3	—
特別損失合計	26	181
税金等調整前四半期純利益	1,822	2,643
法人税、住民税及び事業税	155	713
法人税等調整額	395	221
法人税等合計	551	934
四半期純利益	1,271	1,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,271	1,709



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,271	1,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	33
繰延ヘッジ損益	9	△3
退職給付に係る調整額	△331	△280
その他の包括利益合計	△304	△250
四半期包括利益	967	1,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967	1,458
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

自己株式の取得

当社は、2020年12月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,295,600株を取得いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,118百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が3,626百万円となっております。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社翼は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるフランスベッド株式会社を通じてカシダス株式会社の全株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、当該会社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2020年10月31日としており、四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書には当該会社の業績は含まれておりません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,006	15,891	38,898	245	39,144	—	39,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	224	225	4	230	△230	—
計	23,008	16,116	39,124	250	39,375	△230	39,144
セグメント利益	1,609	135	1,744	3	1,748	25	1,773

当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,426	14,194	37,620	298	37,919	—	37,919
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	188	192	4	197	△197	—
計	23,430	14,382	37,813	303	38,116	△197	37,919
セグメント利益	1,976	336	2,312	3	2,315	26	2,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	717	736
全社費用※	△691	△710
合計	25	26

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
減損損失	—	10	10	—	10	—	10
計	—	10	10	—	10	—	10

当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
減損損失	—	43	43	—	43	—	43
計	—	43	43	—	43	—	43

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるフランスベッド株式会社を通じてカシダス株式会社の全株式を取得し、当該会社を連結の範囲に含めたことにより、「メディカルサービス」セグメントにおいて、のれんが375百万円発生しております。

なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。